さなぶりファンド ニュースレター
NewsLetter
2012
Vol.01

ご支援・ご協力ありがとうございます

今年も残すところわずかとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。一般財団法人 地域創造基金みやぎ（通称「さなぶりファンド」）設立に際しては、ご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。また、これまで活動を続けることができましたのも、ひとえに皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

2011 年 6 月 20 日より活動を始め、設立から 2 ヵ年。東北と関東出身者の事務局スタッフによって、以下のことが実現できました。

- 財団独自のプログラムに約 362 万円の寄付を受領
- 被災 3 県の支援関係団体との情報交換、被災地に支援を行っている 11 の助成機関との連携会議を主催
- 非資金的支援として、会計体制の構築支援、子どもの参加に関するフォーラムの開催、支援先同士の学びあいフォーラム、震災後の避難所における子どもの果たした役割の記録事業などの実施（公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働事業）
- 総額約 2 億 127 万円の助成が決定する見込み
- 2015 年末までに、4 事業合計 6.5 億円弱の協働計画を獲得済み。今後の規模・期間拡張を目標

これらは今回のニュースレターでご報告するとともに、現在 2 ヵ年分の年次報告をまとめておりますが、ウェブサイト（www.sanaburifund.org）からも活動についてご覧いただくことができます。

念願の公益法人化につきましてはただ今審査待ちをしており、来春までには認可頂けるのではないかという状況です。これまでご報告が遅れていたことをお詫びするとともに、来年は定期的なニュースレターの発行も課題とし情報発信に努めてまいります。

また、来年 3 月 11 日に震災後 2 ヵ年を迎える時期に合わせ、被災地の現状をお伝えしつつご支援を呼びかける募金キャンペーン「あづめっちゃ」も予定しております。その時になりましたら再度お声がけを致しますが、引き続きご関心・ご協力を頂ければ幸いです。

新年にむけ、皆様のご健勝と市民活動の隆盛、被災地の平安と復興をお祈りし、ご挨拶に代えさせていただきます。来年がどうかよい年になりますように。

一般財団法人
地域創造基金みやぎ
理事長　大滝精一

© Masaya Tanaka

2011 年 6 月 20 日の設立から 2012 年 11 月末までの助成実績

合計：75 件 ／ 8,831 万円 （内、宮城県に所在する団体：4,682 万円）
※2012 年 12 月末までに、総額 2 億 127 万円の助成が決定する見込み

ローズファンド 助成事業の一例
NPO 法人 いわて地域づくり支援センター

事業地域：岩手県大船渡市
助成金額：150 万円
事業内容：津波による被害を受けた地域における、地元自治会主体の復興計画づくり・合意形成のサポート

こども☆はぐくみファンド 助成事業の一例
ハート＆アート空間ビーアイ

事業地域：宮城県仙台市
助成金額：150 万円
事業内容：福島県から仙台市に避難している母子の居場所となる「ふくしまほっこりカフェ」を実施

助成事業

資金拠出者：ジャパン・ソサエティ（英国）
助成事業名：ジャパン・ソサエティ 東日本大震災復興基金（ローズファンド）
助成実績　：2,961 万円　19 件（申請件数：63 件）

対象地域：岩手県、宮城県、福島県（一部山形県）
助成規模：46 万円～ 200 万円
対象事業：復興支援事業、復興支援事業に取り組む NPO の組織基盤強化

資金拠出者：公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
助成事業名：こども☆はぐくみファンド　助成実績：5,790 万円　45 件（申請件数：94 件）

対象地域：岩手県、宮城県、福島県
助成規模：22 万円～ 496 万円
対象事業：0 歳～ 18 歳の子どもを対象とした事業（親子支援、妊産婦支援を含む）

資金拠出者：三菱重工業株式会社
助成事業名：三菱重工・みやぎミニファンド　助成実績：80 万円　11 件（申請件数：11 件）

対象地域：宮城県南三陸町、気仙沼市
助成規模：5 万円～ 10 万円
対象事業：自立的復興のためのしごとづくりに関する事業・コミュニティ形成を図る事業

資金拠出者：サントリーホールディングス × 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
（サントリー・SCJ 福島子ども支援 NPO 助成プロジェクト）
助成事業名：フクシマ ススム ファンド　助成予定額：5,000 万円　15 件（申請件数：88 件）

対象地域：福島県 + 福島県からの避難者の受入地域
助成規模：124 万円～ 500 万円
対象事業：0 歳～ 18 歳の子どもを対象とした事業（親子支援、妊産婦支援を含む）

団体所在地別助成件数

[全体：75 件]　岩手県：8 件　宮城県：46 件　福島県：18 件　山形県：3 件

さなぶりファンド これまでの主要な取り組み

寄付募集プロジェクト

志津川タコ復興プロジェクト

津波により大きな被害を受けた南三陸町志津川地区。志津川の特産品であるタコを絶やすまいと、タコ漁復興のため動き出した漁師さんたちを支援するプロジェクトです。

寄付総額：2,352,500 円
寄付件数：134 件
受付期間：2012 年 7 月 1 日
～ 9 月 16 日

◀集まった寄付金を漁協の方へ贈呈

東北のお正月を応援プロジェクト

震災後初めて「おめでとう」と言い合える 2013 年のお正月。全国の皆様から寄付を集め、仮設住宅等で行われる年末年始の催しのために、住民団体や自治会に助成するプロジェクトです。

寄付総額：1,072,500 円（暫定）
寄付件数：68 件
受付期間：2012 年 7 月 1 日
～ 11 月 30 日
助成事業：8 事業に決定

◀年末年始の催しを考える座談会の様子

他団体との連携

支援関係団体との情報交換

被災 3 県の復興支援関係団体と定期的な情報交換を行い、地域での復興に向けた状況や支援の在り方を相互に学びました。

被災地で支援を行う財団との連携会議

被災地で資金助成を行う 11 の財団が集まり、現状の共有や民間の助成機関が果たすべき役割などの意見交換を行う連携会議を 2 回主催しました。

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働事業「こども☆はぐくみファンド」関連

震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト

震災後、避難所などにおける中高生の活躍を記録し、冊子に残すプロジェクト。岩手・宮城・福島県を中心とした学校や児童館など 1958 ヵ所にポスターを送付済み。2013 年 1 月 7 日まで投稿を受け付け、2013 年 3 月には全ての声をまとめた冊子を発行する予定です。

子どもの参加・推進フォーラム

こども参加の取り組みを共有すると共に、子どもたちが復興において果たせる役割について考えました。福島・宮城・岩手 3 県で開催しました。

支援先団体同士の経験共有・学びあいフォーラム

こども☆はぐくみファンド支援先の 26 団体 41 人が集まり、東北の子どもたちの現状や必要な取り組みなどについて話し合いました。

会計体制の構築支援

支援先団体の基盤強化を目的として、会計体制の見直し・新たな体制構築のための研修を 2 団体に行いました。

来年の寄付募集プログラム

事業指定寄付プログラム「あづめっちゃ」をスタートします。「あづめっちゃ」とは、宮城弁で「集めよう」の意味で、地域創造基金みやぎと参加団体が一緒に寄付を集める新しい仕組みです。震災から 2 年が経とうとする時期に「被災地で今、何が起きているのか？」「課題は何か？」を広く訴え、その解決策への資金を募ります。2013 年 1 月に参加団体を決定し、募金キャンペーンを 2013 年 2 月から始める予定です。

事業指定助成プログラム
あづめっちゃ
わたしが住むまちを
より良くする新しい仕組み

メディア掲載実績

2012年2月9日	山形新聞	2012年8月21日	サンケイスポーツ	2012年10月27日	産経新聞
2012年5月10日	福島民友	2012年8月25日	河北新報	2012年10月30日	FORTUNE宮城
2012年6月15日	BRUTUS（雑誌）	2012年8月25日	日本経済新聞	2012年11月17日	河北新報
2012年7月5日	ソトコト（雑誌）	2012年8月28日	山陽新聞	2012年12月6日	FM PORT（新潟県）
2012年7月19日	東北復興新聞（WEB）	2012年8月29日	岩手日報	2012年12月6日	FM POCO（福島市）
2012 年7月23日	オルタナS（WEB）	2012年8月30日	読売新聞（岩手版）	2012年12月10日	NHKラジオ
2012年7月26日	福島民友	2012年9月7日	毎日新聞（宮城版）	2012年12月13日	ラジオ石巻（石巻市）
2012年8月10日	河北新報	2012年10月25日	東京新聞	2012年12月14日	BAY WAVE（塩釜市）
2012年8月20日	中國新聞	2012年10月25日	山梨日日新聞	2012年12月19日	仙台ラジオ3（仙台市）
2012年8月21日	岩手日報	2012年10月27日	日本経済新聞		他多数

団体の愛称「さなぶり」とは

東北地方で古来より田植え後に開かれる宴のこと。「さ」とは田の神様で、田植えが無事に終わったことへの感謝と五穀豊穣を願う意味があります。また田植えを手伝ってくれた人の労をねぎらい、酒を酌み交わすことで絆を深める役割もあったようです。地域の支え合いの「結（ゆい）」が関係しているとも言われます。

私たちの仕事は、皆さまと一緒に地域に変化を創造する種をまき、その種の成長をご支援するもの。多様な方々とのつながり（結）をもとに、様々な種を植え、それらの取り組みの豊穣を願うことから「さなぶりファンド」と名づけました。

寄付のお願い

地域創造基金みやぎは、東北各県のより良い暮らしづくりのために活動しています。皆様からの寄付に支えられて、復興へ向けた新たな事業の開発を行っています。

■郵便振替 ----------
口座番号：02270-3-134826
口座名義：一般財団法人　地域創造基金みやぎ
　　ザイ）チイキソウゾウキキンミヤギ

■銀行口座 ----------
銀行・支店名：仙台銀行　中央通支店
支店番号：204
口座番号：普通預金　5246616
口座名義：一般財団法人 地域創造基金みやぎ 代表理事 大滝 精一
　　ザイ）チイキソウゾウキキンミヤギ

■ウェブで申し込み -------- 「さなぶりファンド」で検索

The Sanaburi Foundation
発行　一般財団法人 地域創造基金みやぎ　　発行者　大滝 精一
〒980-0804　宮城県仙台市青葉区大町1－2－23桜大町ビル303
TEL：022-748-7283　FAX：022-748-7284　E-mail：info@sanaburifund.org
WEB：www.sanaburifund.org　Facebook：www.facebook.com/sanaburifund　Twitter：@sanaburifund
本ニュースレターは、認定ＮＰＯ法人 ジャパン・プラットフォームを通じて支援を受けている富士ゼロックス株式会社の複合機で印刷しています。